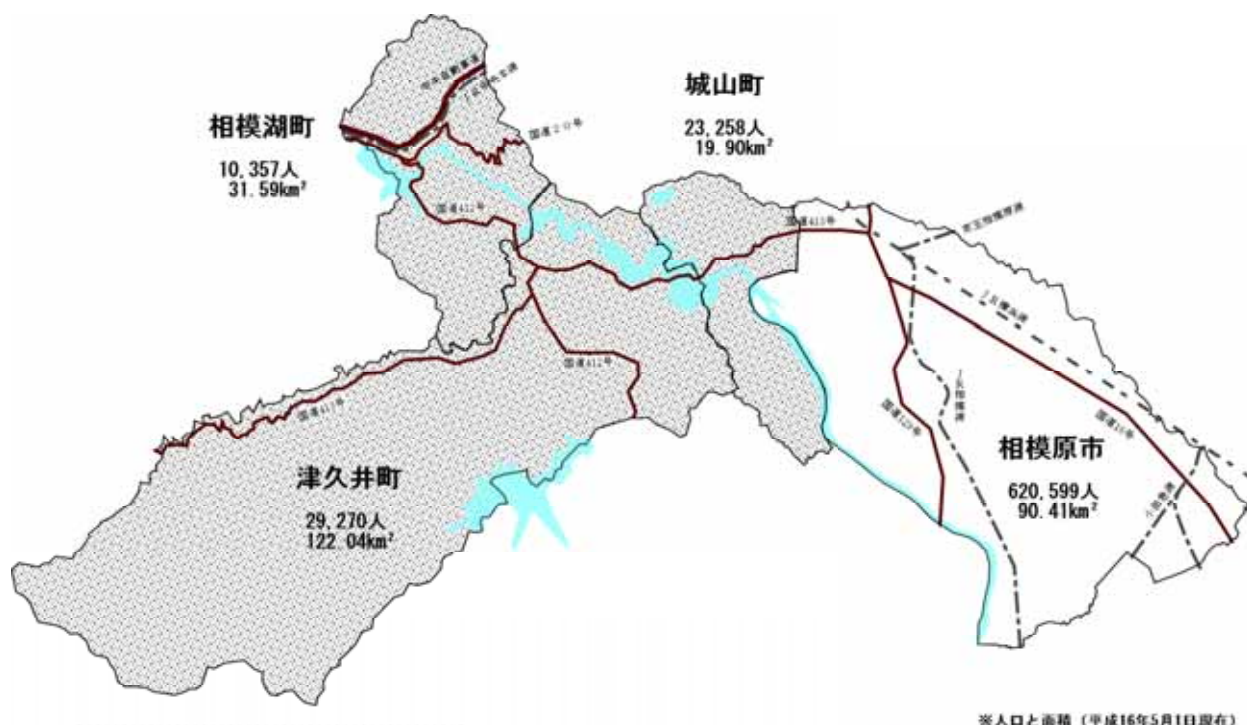


# 津久井地域のタウンウォッチング資料



平成16年6月12日（土）

相模原・津久井地域合併協議会  
第3回まちづくりの将来ビジョン検討委員会

## タウンウォッチング・ルート

けやき会館前 (相模原市)	9:00 集合 9:15 出発	委員乗車場所(相模原市委員)
城山町役場 (城山町)	9:35 集合 9:45 出発	委員乗車場所(城山町・津久井町・相模湖町委員)
	保健福祉センター～里山風景～若葉台住宅団地	
城山湖周辺 (城山町)	9:55 着 10:10 発	「城山湖」, 「城山発電所」, 「町民の森散策路」
	さがみ縦貫道路通過地	
津久井湖記念館 (津久井町)	10:20 着 10:45 発	「津久井湖の歴史」, 「津久井湖城山公園(水の苑地)」
	城山ダム～津久井湖城山公園(花の苑地)～中野商店街～三ヶ木～青山～青野原～青根	
津久井町緑の休暇村センター(青根) (津久井町)	11:45 着 13:00 発	昼食休憩
	国道413号	
津久井郡広域行政組合 (相模湖町)	13:30 着 14:30 発	「ごみ処理施設」, 「污水处理場」
	寸沢嵐地区(消防本部)～桂橋～千木良地区(県立千木良診療所、国道20号)～小原地区(中央道相模湖東出口)～与瀬地区(JR相模湖駅周辺)	
県立相模湖交流センター	14:55 着	施設見学「相模ダムの歴史」
相模湖町中心市街地タウンウォッチング (津久井町)	15:45 発	相模湖町中心市街地(相模ダム、相模湖公園、役場周辺、相模湖駅、商店街など)を自由に散策
	三ヶ木～青山～長竹～金原工業団地～津久井広域道路都市計画決定地(根小屋)	
	小倉地区(さがみ縦貫道路インターチェンジ建設予定地、新小倉橋)～向原・大島界地区(給食センター、消防署城山分署)	
城山町役場	16:35 着 16:40 発	委員降車(城山町・津久井町・相模湖町委員)
けやき会館前(相模原市)	17:10 着	委員降車(相模原市委員)



# ウォッチングポイント

## 里山風景（小松・城北地区）

雑木林、集落、水田、畑等が一带となっている里山があり、地元住民が里山を保全しようとする意識が高い地域として「里山づくり推進事業」のモデル地区に指定されています。（写真は小松地区）

また、平成6年6月に建設された「城山自然の家」は町民の自然観察、環境学習及び研究交流の拠点となっており、館内には、野草や樹木、鳥などの写真の他自然に関する展示物があります。



「城山自然の家」

## 城山湖周辺

### 「城山湖」

津久井湖の水をポンプアップして発電する補助湖として造られた人工湖です。

### 「町民の森散策路」

城山湖周辺の恵まれた自然環境を生かした散策路

城山湖1周約5kmのハイキングコースは、「神奈川の公園50選」に選ばれているほか、豊かな自然に恵まれた野鳥の宝庫として「かながわの探鳥地50選」にもなっています。また、晴れた日には金刀比羅宮前から遠く新宿副都心や東京タワー、横浜ベイブリッジ・ランドマークタワーを望むことができます。



### 「城山発電所」

わが国初の大規模な純揚水式発電所

夜間の余剰電力を利用して津久井湖の水を城山湖に汲み上げ貯留し、電力需要の多い時間に城山湖から津久井湖に発電により放流しています。



## 津久井湖記念館

城山ダム建設前や建設中の写真のほか津久井湖に沈んだ地域について展示されており、水没した集落で使われていた生活用具や風景写真などが展示されています。

城山ダム及び津久井湖誕生の歴史です。



## 津久井湖城山公園

県立津久井湖城山公園は、城山ダムの両岸と、戦国時代の山城、津久井城址を利用した公園です。

「水の苑地」には、カスケードや噴水があり、「花の苑地」には、ハーブや宿根草が植えられた“ガーデンテラス”があります。(写真は「水の苑地」)

平成15年には、根小屋地区も開園しました。



## 津久井城址（城山）と津久井湖

津久井湖は、昭和40年、城山ダム完成によって誕生した湖です。津久井城址は、津久井湖南側の海拔375mの独立峰宝ヶ峰にあり典型的な山城の遺構を残し歴史的にも重要な文化遺産です。城下一帯を津久井領と称したのが「津久井」の由来といわれています。



## 中野

町の北部に位置し、津久井郡や町の公共公益施設が集積する町の中心地です。国道413号により相模原市などの近隣都市と結ばれています。

主な施設 町役場、文化福社会館（中央公民館）、保健センター、小・中学校、尾崎弔堂記念館（「憲政の神」といわれた尾崎行雄の偉業を称え、尾崎家代々の屋敷跡に昭和32年に又野に開館）、津久井合同庁舎、津久井警察署、郡郷土資料館、津久井赤十字病院



## 三ヶ木

国道412号、413号の2本の国道が地区内で合流します。バスセンターが立地し、町内では交通利便性が高い地区です。

主な施設 生涯学習センター（生涯学習の場の中心となる施設として県立津久井青少年会館の移譲を機に平成9年4月開設、出張所・地域センターが併設）、県立高校、保育所、小学校、バスセンター

## 青野原

道志川と平行に走る国道413号沿道に広がる地区です。地区南部は、丹沢大山国立公園につながる豊かな森林が広がります。

主な施設 支所、保育所、小・中学校、青野原道志川の家（川遊び、山歩き、キャンプ、バーベキューなどの自然体験ができる）、グリーンファーム青野原（写真・国道413号青野原バイパス沿いに平成9年4月に開設された貸し農園、全198区画）



## 青根

町の最西端に位置し、国道413号沿道に点在する集落と国立公園に指定されている豊かな森林に囲まれた地区です。

主な施設 支所、公民館、児童保育園、小・中学校、緑の休暇村センター、コミュニティセンター

### 青根緑の休暇村センター <昼食>

自然休養村事業により昭和56年に整備され、テニスコート、コテージなどが併設されています。

町合唱館 青根は、磯部俣氏作の合唱曲「遙かな友に」の誕生の地と知られ、これにちなんで、平成6年にオープンしたホール。



### 道志ダム（奥相模湖）

道志川の水量調節や水道水、発電などを目的として昭和30年に完成したダムです。自然のままの樹林に囲まれ、秋には紅葉が包み込み、早朝の霧に煙る姿は神秘的です。

## 津久井郡広域行政組合 < 施設見学 >

津久井郡内のごみ・し尿の収集・運搬・処分、急病診療、消防など広域的な特定の事務を行う一部事務組合です。(左:ごみ処理処理場・汚物処理場、右:消防本部)



## 桂橋

内郷地区と千木良地区を結ぶ橋、県道整備により平成元年4月に開通、橋の開通により自動車での住民の町内、町外の行き来が短縮されました(橋が出来る前は人道橋で自動車等は通れませんでした)。



## 県立千木良診療所

千木良診療所は昭和21年11月に開所、当初は日本医療団が経営しており昭和23年4月に県に移管されて以来、千木良地域や町の住民の身近な医療施設となっております(一日の平均診察患者数は約25人。)

営業日は月～土の午前8時30分～12時まで午後は往診のみを行なっています。



## 一般国道20号

ROUTE 20 ~ 甲州街道 ~ 総延長 225.0 km

起点、東京都中央区(日本橋)

終点、長野県塩尻市

江戸時代の五街道のひとつであり(東海道、中山道、甲州街道、日光街道、奥州街道)江戸日本橋を起点とし、甲府を経て、中山道に合流する下諏訪までの道、現在の国道20号に一致し20号は今でも甲州街道と通称されています。

## 中央自動車道相模湖東出口

相模湖東出口は、国道20号線に連絡しており、東京方面からの下り線出口のみ設置されています。町としては、下り線出口のみで大変不便を感じており（観光客の利便性、国道20号線駅前交差点の混雑緩和）町の活性化のためにも、県に対して毎年、施策・予算に関する要望として中央自動車道相模湖東インターチェンジの設置について要望しています。

## JR 相模湖駅周辺

昭和39年秋の東京オリンピックで相模湖がカーヌー競技会場になったことから、駅と駅前広場がモダンなステーションに生まれ変わりました。駅構内の壁には相模湖で釣り上げられたヘラブナとブラックバスの大物の魚拓が飾られます。相模湖駅の1日の利用乗降者数約 6,300人

新宿まで（中央特快）1時間15分

東京まで（中央特快）1時間30分

横浜まで 1時間15分

相模原まで 38分



## 県立相模湖交流センター・相模湖町相模湖記念館

多目的ホール（客席数456席）、アートギャラリー、レッスン室、研修室（2室）。開館午前9時から午後9時30分（相模湖記念館は5時まで）。毎週月曜日休館（祝日、振替休日の場合は翌日）。12月29日～1月3日閉館。平成12年4月25日開館。相模湖記念館には、相模湖に関わる展示物があり、電気の体験やデータの検索などもでき、喫茶室（ル・ボン）が併設され、パンの食べ放題もあります。

## 【施設見学・フリータイム】



## 相模ダム・相模湖公園

相模湖は日本で最初に河川総合開発事業で建造された多目的ダム（相模ダム）です。相模川（この地域では桂川とも呼ばれています。）をせき止めてできた人造湖です。

神奈川県の高麗な水源としての役割（横浜市、川崎市、相模原市の北部、厚木市北部、愛川町及び津久井郡4町）そして水力発電のエネルギー源としての役割を果たす目的で作られました。



## 青山、長竹、根小屋

町の南東部に位置し、地区内には、1本の国道、3本の県道があります。地区内には、津久井広域道路が構想・計画されています。現在、国道412号の拡幅整備が進められています。

主な施設 支所、地域センター、保育所、小・中学校、  
学校給食センター



## 金原工業団地

町唯一の工業団地で、地域の雇用と地域経済の活性化などを目的に、昭和47年から企業を誘致。現在は、誘致企業を含め、11社が操業中です。

## 新小倉橋

「新小倉橋」は、津久井広域道路の一部区間として平成16年3月に供用開始となった日本でも有数の規模となるアーチ橋です。

また、「小倉橋」は、昭和13年(1938)に架設された鉄筋コンクリート四径間連続アーチ橋で、相模川に架かる橋としては最も古いものであり、アーチが4つ連なる独特の造形的な美しさは、周辺の豊かな自然に映え、小倉橋とその周辺は、「かながわの橋100選」「かながわの景勝50選」「相模川八景」に選ばれています。



## 学校給食センター

1 幼稚園、4 小学校、2 中学校の給食の調理を行い、配送しています。

調理能力：4,500食



# タウン・ウォッチングの方法について

## ◆ タウン・ウォッチングワークのねらい

実際に現場をみて、これまでにあがった意見・課題などの内容を確認する

- 現場を実際に見て、みなさまの実感にあっているかどうかを確認します。

追加すべき地域の「らしさ」・「課題」をみつける

- これまでに出された以外の、地域の「らしさ」・「課題」などを現地で見つけることができれば、あげてください。

見方の違い・共通点を知る

- まちの見方（意見・課題など）が、人によって異なることや、共通する点を探ります。

## ◆ 現地調査の方法

対象のポイントで時間をとってワークシートの記入を行います

- 調査するポイントは地図に示すとおりです。
- 歩くコースや調査する地点は、スタッフの指示に従ってください。

そこで気づいたことを各自、調査票に書き込んでください

- カメラを用意していますので、撮影の必要なポイントを指示してください。
- 気づいたことはメモにするほか、スケッチ、イラストで説明していただくと、なお、今後の議論の際に有効になります。

現場での直感を大切にしてください

- 相模原・津久井地域の「らしさ」、「いいな」と思うところ、「こんなのだったらいいな」、「分からないな・何でかな」というところなど、実際に五感を総動員して、見つけてください。

## ◆ 留意事項

- 交通など安全には、くれぐれも気をつけてください。
- 1カ所あたり10分程度を考えています。
- 集団行動での移動が多くなるため、各見学場所での集合時間などお時間を守るよう、お願いいたします。

# まちづくりの将来ビジョン検討委員会 津久井地域タウン・ウォッチング、ワークシート

## おなまえ

---

・津久井地域の「らしさ」、「いいなと思うところ」、「こんなだったらいいな」、「分からないな・何でかな」というところなど、ご自由にお書き下さい。

1. 視察箇所 [ ]

[ ]

2. 視察箇所 [ ]

[ ]

3. 視察箇所 [ ]

[ ]

4. その他 [タウン・ウォッチング全体を通して、ご意見・ご感想を自由にお書き下さい ]

[ ]

## ・検討委員会について

検討委員会のこと、今後の進め方など何でも結構です。ご自由にお書きください

[ ]

現地調査終了後、バスの降り口にて、係りの者に提出して下さい。